

地球上で最も自然が豊かな場所の一つコスタリカの
豊かな生態系を守った人々のドキュメンタリー



最後の楽園コスタリカ

オサ半島の守り人



県大 SDGs シネマ

In 湖風夏祭



#08 - Jun. 2019

最後の楽園コスタリカ

オサ半島の守り人

日時： 6月15日 (土)

🕒 1回目 11:30 ▶ 13:00
2回目 14:30 ▶ 16:00

📞 お問い合わせ先

TEL: 0749-28-9851

FAX: 0749-28-0220

地域共生センター (谷口)

場所： 滋賀県立大学
A7棟 102教室

(内側の地図をご参照ください)

参加費： 無料 《一般の方もご参加いただけます》



■ 上映作品の紹介

『最後の楽園コスタリカ ～オサ半島の守り人～』

地球上で最も自然が豊かな場所の一つコスタリカの豊かな生態系を守った人々のドキュメンタリー

地球上の宝石のような自然豊かな国コスタリカ

コスタリカは、1948年に軍隊を撤廃した非武装永世中立国。平和で社会福祉が充実し、国民の幸福度も高い。しかし、世界的により知られているコスタリカの魅力は豊かな自然だ。コスタリカは世界的にエコツーリズムの発祥の地として知られ、人気のデスティネーションとなっている。広大なアメリカ大陸のど真ん中、中米に落とされた宝石のような存在で、四国と九州を合わせた程度の大きさに、地球上の全動植物種の約5%が生息しており、単位面積当たりの生物多様性世界一とされている。そして、国土の約4分の1を自然保護区または国立公園にしている。

乱開発で一時は激減した森林を復活させた「守り人」たち

そんなコスタリカの南西に、地上で最も生態系が豊かな場所、オサ半島がある。まさに地球上の至宝であるこの豊かな自然も、無計画な伐採や採掘で消滅する危機があった。一時期、コスタリカでは森林面積が約2割まで激減。しかし、「守り人」たちの活躍で、半島の森では今もジャガーが歩き、コンゴウインコが羽ばたき、岸边にはザトウクジラの姿も見られる。これは半島保護に人生を捧げた人々の物語で、「コスタリカ国立公園の父」と讃えられるアルバロ・ウガルデやエコロッジオーナー等が登場する。気候変動への対策が急がれる今、オサ半島の成功は世界が学べるモデルを示している。

監督：オースティン・アンドリュース プロデューサー：ドシー・アンドリュース 製作総指揮：バリー・アンドリュース 配給：ユナイテッドピープル 原題：OSA: The Jewel of Costa Rica 2015年/ドキュメンタリー/アメリカ/51分

(ユナイテッドピープル 映画紹介資料より)

■ 県大 SDGs シネマ について

滋賀県立大学では持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた活動を行っています。SDGsに取り組もうとするときに、何から手をつけるべきでしょうか？私たちは、まず現在の社会にある課題を知り、多様な視座からその課題を捉えることが大切だと考えました。そこで様々な社会課題に触れ、周りの人たちと感想や意見を共有する機会をつくるため、1-2カ月に一度、県大キャンパス内で映画の上映会を開催することにしました。上映後には参加者同士で映画の感想や意見交換をする時間も取りたいと思います。皆さんがこの上映会で社会課題に対して新たな問題意識を発見し、次の一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

■ 上映場所のご案内

A7棟 102教室(下図★)

🚗 お車で越しの方
北駐車場をご利用ください。

🚌 バスをご利用の方
南彦根駅西口からご乗車いただき、
県立大学で降車してください。
(所要時間：15～20分)

